

2017年度(平成29年度)事業報告書
(自2017年4月1日 至 2018年3月31日)

一般財団法人 山縣記念財団

I 2017年度 決算について

- a) 基本財産運用益が850万円(前年度1,346万円)と前期に比し496万円減少し、受取会費などと合わせ
- b) 経常収益は、1,759万円(前年度2,247万円)と488万円の減収となった。
- c) 一方、経常費用は4,138万円(前年度3,892万円)と前期比246万円増加し、
- d) 評価損益等調整前当期経常増減額は△2,379万円(前年度△1,645万円)となった。
- e) また、基本財産等の評価損益等が△986万円(前年度1,750万円)発生したため、
- f) 当期末正味財産は、5億1,880万円(前年度5億5,245万円)と前期比3,365万円の減少となった。
- g) なお、公益目的支出計画は認可を受けた年間支出金額2,990万円に対し実績は3,116万円と計画を達成した。

II 実施事項

1. 継続事業1: 普及・啓蒙事業

(1) 学術研究誌『海事交通研究』(年報)第66集発行

合計11件の論文等(内、査読論文5件、招待論文2件、論文以外4件)を掲載し2017年12月22日発行、海運・物流関係者などに配布した。

(2) 逸見 真編著『船長職の諸相』

2018年3月30日に発行、海運・物流関係者などに配布した。

2. 2017年山縣勝見賞(継続事業2: 表彰事業)

2017年7月20日 海運クラブにて受賞者、関係者を招いて贈呈式を開催した。

受賞著作・論文・受賞者は以下の通り。

- ・著作賞: 木原知己著『船舶金融論—船舶に関する金融・経営・法の体系—』
- ・論文賞: 西崎ちひろ著「見張り作業における操船者の状況認識と見張り支援に関する研究」
- ・論文賞: 若土正史著「大航海時代におけるポルトガル「インド航路」の海上保険の活用について」
- ・功労賞: 國領英雄氏
- ・特別賞: 該当なし

3. 海事関係団体などへ支援と協力の強化(継続事業3: 助成事業)

(1) 2017年度助成については、以下の11件(9団体/個人)に対し助成(合計210万円)を行った。

- ① 日本海洋少年団連盟: 「褒状山縣賞」授与事業(20万円)
- ② 日本海洋少年団連盟: 「我ら海の子展」事業(10万円)
- ③ 日本海洋少年団連盟: カヌー整備事業(30万円)
- ④ 東京海洋大学 海事普及会: 海事普及のための学校等巡回活動事業(30万円)
- ⑤ NPO 法人故郷の海を愛する会: 海から始まる物語 IN 2017(10万円)
- ⑥ 国際海運経済学会(IAME)2017年京都大会開催実行委員会: 国際海運経済学会(IAME)2017年京都大会(30万円)
- ⑦ 藤本昌志: 超大型コンテナ船の航海灯の配置による問題に関する研究(20万円)

- ⑧嶋田陽一:夜光衛星画像を用いた対馬海峡における漁船の動向及び商船の安全な航路選択 (20 万円)
- ⑨梅田綾子:Autonomous Ship Techonology Symposium 2017 での講演 (10 万円)
- ⑩水野英雄:外航クルーズ客船の寄港状況調査 (20 万円)
- ⑪若土正史:スペイン・ブルゴス古文書館及びヴェアリャドリッド高等裁判所古文書館収蔵の海上保険の保険金支払い訴訟に関する手稿史料の翻訳 (10 万円)

(2) 日本海洋少年団連盟主催の第 45 回 「我ら海の子展」の表彰式(2017 年 8 月 18 日)には郷古理事長が出席し、「山縣記念財団理事長賞」を贈呈した。
 また、2017 年度「褒状山縣賞」の表彰式 (2018 年 3 月 16 日) には郷古理事長、松尾理事が出席した。

III 登記事項

- (1)2017. 6. 15 小林一夫:理事退任、代表理事退任、郷古達也:理事重任、代表理事就任、堀井宣幸・高田富夫:理事重任 以上につき 2017. 6. 29 登記
- (2)2017. 7. 1 久下浩一:理事就任、2017. 7. 5 登記
- (3)2017. 9. 28 堀井宣幸:理事退任、2017. 10. 3 登記
- (4)2018. 1. 10 松尾泰彦:理事就任、2018. 1. 12 登記
- (5)2018. 2. 15 古知敏夫:死亡により評議員退任、2018. 2. 22 登記

IV 会議などの実施状況

以下に記載した合計 20 件の会議・式典などを行った。

1. 理事会・評議員会

No	開催日	場所/会議名	内容
(1)	2017. 4. 20	財団事務所 臨時理事会	山縣勝見賞選考委員会 (2017. 4. 20 開催) の答申を承認、2017 年山縣勝見賞受賞者を決定。
(2)	2017. 6. 1	財団事務所 定時理事会	①2016 年度事業報告・決算・公益目的支出計画実施報告を承認。 ②評議員会(2017. 6. 15)開催日時・場所・議題について承認。 ③小林理事長退任に伴う役員退任特別功労加算金支給の件について承認。 ④代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告。 ⑤年報第 66 集執筆申請受諾状況について報告。
(3)	2017. 6. 15	財団事務所 定時評議員会	② 2016 年度事業報告・決算・公益目的支出計画実施報告を承認。 ②小林一夫理事退任を報告、郷古達也、堀井宣幸、高田富夫の理事重任を承認 (以上本日付)、久下浩一を新理事に選任 (2017. 7. 1 付就任)。 ③定款一部変更案 (顧問新設) を承認。 ④定款一部変更案 (常務理事空席への対応) を承認。 ⑤小林理事長退任に伴う役員退任特別功労加算金支給の件について報告。 ⑥2017 年山縣勝見賞決定の旨報告 ⑦年報第 66 集執筆申請受諾状況について報告。

(4)	2017. 6. 15	財団事務所 臨時理事会	①代表理事（理事長）に郷古達也を選定。業務執行理事（常務理事）が空席となることを承認。 ②顧問に小林一夫を選任。 ③「費用別会計区分仕訳取扱細則」（別紙）一部変更につき承認。 ④小林一夫の後任として、年報掲載作品編集委員会委員に郷古達也、山縣勝見賞選考委員会委員及び助成審査委員会委員に久下浩一を選任。
(5)	2017. 9. 25	eメールにて 臨時理事会	堀井理事退任に伴う役員退任特別功労加算金支給の件について承認。
(6)	2017. 11. 22	eメールにて 臨時理事会	評議員会(2017. 11. 30)開催日時・場所・議題について承認。
(7)	2017. 11. 30	財団事務所 臨時理事会	①事業活動及び収支状況の中間報告並びに公益目的支出計画の進捗状況について報告。 ②松尾泰彦を理事候補として評議員会に付議することを報告。 ③代表理事の職務執行状況報告。 ④年報第 66 集掲載論文について報告。 ⑤基本財産の一部取崩しを承認。 ⑥「費用別会計区分仕訳取扱細則」（別紙）改定につき承認。 ⑦「山縣勝見賞表彰規程」一部変更（常勤役員定員）につき承認。 ⑧「海事交通文化の調査研究並びにそれに関連する事業に対する支援・助成に関する規程」一部変更（常勤役員定員）につき承認。 ⑨「『海事交通研究』（年報）への投稿募集及び編集に関する規程」一部変更（日程の前倒し案、原稿提出後の委員会の作業、常勤役員定員）につき承認。 ⑩「年報掲載作品編集委員会内規」廃止につき承認。
(8)	2017. 11. 30	財団事務所 臨時評議員会	①松尾泰彦を新理事に選任（2018. 1. 10 付就任）。 ②基本財産の一部取崩しを承認。 ③事業活動及び収支状況の中間報告並びに公益目的支出計画の進捗状況について報告。 ④年報第 66 集掲載論文について報告。
(9)	2018. 3. 20	eメールにて 臨時理事会	評議員会(2018. 3. 28) 開催日時・場所・議題について承認。
(10)	2018. 3. 28	財団事務所 定時理事会	①2018 年度事業計画・収支予算・公益目的支出計画を承認。 ②助成審査委員会答申案を承認。 ③「『海事交通研究』（年報）への投稿募集及び編集に関する規程」一部変更につき承認。 ④『海事交通研究』（年報）執筆要領案を承認。 ⑤年報第 67 集執筆予定論文等について報告。 ⑥査読者選定方法について報告 ⑦『船長職の諸相』（逸見評議員編著）発行の件につき報告。

(11)	2018. 3. 28	財団事務所 臨時評議員会	<p>①2018 年度事業計画・収支予算・公益目的支出計画を承認。</p> <p>②助成審査委員会答申案を承認。</p> <p>③「『海事交通研究』（年報）への投稿募集及び編集に関する規程」一部変更につき承認。</p> <p>④『海事交通研究』（年報）執筆要領案を承認。</p> <p>⑤年報第 67 集執筆予定論文等について報告。</p> <p>⑥査読者選定方法について報告</p> <p>⑦『船長職の諸相』（逸見評議員編著）発行の件につき報告。</p>
------	-------------	-----------------	--

2. 年報掲載作品編集委員会

No	開催日	場所	内容
(1)	2017. 4. 12	財団事務所	<p>①年報第 66 集執筆申請 16 件並びに事務局提案 1 件、合計 17 件について審議の結果、12 件に対し執筆申請受諾/執筆依頼することを承認。</p> <p>②年報第 66 集執筆論文の査読の進め方、査読候補者の選定方法について承認。</p>
(2)	2017. 9. 12	財団事務所	<p>①提出論文等 12 件の一次審査を行い、論文 6 件につき査読後、論文 1 件は論文以外の文章として再提出後、夫々掲載可否を判断することとし、招待論文 1 件並びに論文以外の文章 3 件は掲載可、論文 1 件は掲載不可とした。</p> <p>②論文のカテゴリー、並びに執筆者氏名、所属先の表記方法を承認。</p>
(3)	2017. 10. 13	財団事務所	<p>①査読対象の 6 論文のうち、既に査読者各 2 名から報告書受領済の 2 論文については条件付き掲載とし、速やかに執筆者宛指摘事項を伝えること、現時点で査読者各 1 名からしか報告書を受領していない 4 論文のうち 2 論文は条件付き掲載、1 論文は掲載可、1 論文は論文以外の文章として再提出後掲載可否を判断することとした。</p> <p>②査読報告の内容は委員会で妥当とした範囲において執筆者に伝えること、条件付き掲載とした場合の執筆者からの回答期限を 2 週間後とすることにつき承認。</p>
(4)	2017. 10. 23	財団事務所	<p>①前回委員会 (2017. 10. 13) の際未着だった査読報告書が全て到着し、改めて、4 論文につき審議の結果、2 論文は条件付き掲載とし、執筆者宛指摘事項を伝えること、1 論文は掲載可とし、1 論文は論文以外の文章として条件付き掲載とすることとした。</p> <p>②査読対象外の招待論文 2 件並びに論文以外の文章 3 件（内 1 件は論文からシフト）は掲載可とした。</p> <p>③掲載論文等の「カテゴリー」の表記方法について引き続き審議するが、査読付き論文は「研究論文」という名称に統一することとした。</p> <p>④ 原稿料について承認。</p> <p>⑤「『海事交通研究』（年報）への投稿募集及び編集に関する規程」変更案、及び「年報掲載作品編集委員会内規」廃止案について承認。</p>

(5)	2017. 11. 20	財団事務所	<p>①査読対象論文 6 件のうち「条件付き掲載」となった 5 件とも執筆者の修正内容が妥当と判断し、掲載可とした。</p> <p>②論文以外の文章として再提出を依頼した 1 件は、修正内容が妥当と判断し、掲載可とした。</p> <p>③掲載論文等の「カテゴリー」、目次の記載方法 及び 各論文等のヘッダー部分の記載方法について承認。</p> <p>④2018 年度年報の募集から発行までの日程について前倒し（執筆申請書提出期限：3 月末⇒2 月末、原稿提出期限：8 月末⇒7 月 20 日）とすることにつき理事会（2017. 11. 30）に付議することを承認。</p> <p>⑤年報第 67 集（2018 年）の「指定テーマ」を以下に決定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海運・造船・港湾と地方創生（論文募集） ・海事教育の現場から（論文以外のカテゴリーで募集）
(6)	2018. 3. 15	財団事務所	<p>①年報第 67 集執筆申請 14 件並びに委員提案 2 件、合計 16 件について審議の結果、12 件に対し執筆申請を受諾し、1 件につき執筆依頼することとした（後日執筆依頼分 1 件は辞退された）。</p> <p>②査読候補者の選定方法について、3 名の大学教授（当財団理事/評議員）の協議により決定することとした。</p> <p>③剽窃・二重投稿の有無のチェックの範囲について承認。また、執筆要領を作成し、理事会（2018. 3. 28）に付議することを承認。</p> <p>④「「海事交通研究」（年報）への投稿募集及び編集に関する規程」一部変更提案があり、理事会（2018. 3. 28）に付議することを承認。</p>

3. 山縣勝見賞選考委員会・贈呈式

No	開催日	場所	内容
(1)	2017. 4. 20	財団事務所	2017 年度山縣勝見賞の著作賞・論文賞(2 件)・功労賞の受賞候補を選定し、理事会に答申することとした。尚、特別賞は「該当なし」とした。
(2)	2017. 7. 20	海運クラブ 306 号室	2017 年度山縣勝見賞贈呈式及び昼食会開催。受賞者 4 名及び財団関係者（役員・選考委員長）5 名、計 9 名出席。

4. 助成審査委員会

No	開催日	場所	内容
(1)	2018. 3. 7	財団事務所	<p>①15 件（13 団体/個人）の助成申請/寄附につき審議の結果、13 件（11 団体/個人）240～265 万円の資金供与を行うこととした（申請者への要確認点 2 件につき 2018. 3. 15 までに回答があり、3 月 7 日の協議に基づき、最終的に 265 万円とすることとした）ので、理事会に答申することとした。</p> <p>②助成・寄附の定義付けをすることにつき、引続き協議することとした。</p>

以上